

交通事故・トラブルの未然防止、安全運転指導効果の向上に期待

「AI搭載通信型ドライブレコーダー」を全車両に導入

KONOIKEグループの貨物自動車・業務連絡車 約2,500台が対象

鴻池運輸株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長執行役員 鴻池 忠彦、以下 鴻池運輸）は、KONOIKEグループが保有するすべての貨物自動車・業務連絡車約2,500台^{※1}に対して、米国・Nauto（ナウト）社製「AI（人工知能）搭載通信型ドライブレコーダー」^{※2}の導入を進めており、2023年3月までに対象車両への装着を完了する予定です。

※1 装着済台数 835台 / 計画数 2,460台(2021年3月31日時点)、※2 Nauto社 Web サイト：<https://www.nauto.co.jp/>

従来、KONOIKEグループの貨物自動車・業務連絡車に導入していたドライブレコーダーは、交通事故・トラブル発生後の状況確認が主な用途となっており、未然防止としての活用は不十分なものでした。今回導入する「AI搭載通信型ドライブレコーダー」は、AIがドライバーのわき見、3急運転（急ブレーキ、急加速、急ハンドル）などを検知すると、車内での警告音でドライバーに注意喚起を行う（わき見運転、車間距離不保持の場合のみ）だけでなく、管理者に対しても危険運転の動画や画像を、通信を介して即座に通知する機能を搭載しています（下記表ご参照）。また、警告の頻度やタイミングなどから、ドライバーごとの安全運転スコアが算出されるため、より効果的で適切な日常の安全運転指導が可能となり、交通事故・トラブルの未然防止が期待できます。加えて、当ドライブレコーダーはクラウド対応のため、従来のドライブレコーダーのように記録されたSDメモリーカードなどを数日に1度抜き出し初期化する必要がなく、ドライバーの負荷軽減にもつながります。

KONOIKEグループは、高い「安全」と「品質」のサービスを提供する会社として、多くのお客さまや社会の皆さまからの信頼をいただくことで、今日まで140年以上の歴史を重ねてくることができました。その根底には「信頼は品質が支え、品質は現場が支え、現場は安全が支える」という考え方があり、全社での意識統一を図っています。当ドライブレコーダーの導入を機に現場の安全性を一層高めていくことで、お客さま、社会の皆さまからさらなる信頼をいただけるよう、努めてまいります。

■ Nauto社製「AI搭載通信型ドライブレコーダー」で検知できる主なリスク項目

項目	詳細	メール通知	WEB配信	車内警告音
衝撃	事故などの強い衝撃	●	動画	—
ニアミス	衝突をギリギリ回避した運転	—	動画	—
急ブレーキ	強いブレーキ操作	●	動画	—
急加速	強いアクセル操作	—	静止画	—
急ハンドル	急なハンドル操作	—	静止画	—
わき見運転	前方不注意(例:携帯電話操作、居眠りなど)	●	動画or静止画	●
車間距離不保持	前方車両との車間距離不足	—	静止画	●
喫煙	走行中の喫煙	—	静止画	—
携帯電話保持	走行中の携帯・スマホ使用（わき見を伴わないケースを含む）	—	静止画	—
シートベルト未装着	走行中のシートベルト未装着	—	静止画	—

■危険運転検知時に管理者に送信されるレポート※3

※3 Nauto社提供サンプル画像(安全な環境下で撮影を行っております)



①車外カメラ画像、②車内カメラ画像、③発生したリスク、
④ドライバー情報、発生地点情報、⑤発生地点地図

(報道関係者様お問い合わせ先) 広報室 古屋、^{じくはら} 竺原 tel:03-3575-5753

■鴻池運輸株式会社の概要 (<https://www.konoike.net/>) ※2021年3月期

KONOIKE グループは、物流の枠を超え、製造、医療、空港業務などを通じ、社会課題の解決と革新に挑戦し続ける、プロフェッショナルサービス集団です。

商号	鴻池運輸株式会社 ※東証 1 部	代表者	代表取締役社長執行役員 鴻池 忠彦
大阪本社	大阪市中央区伏見町 4-3-9	東京本社	東京都中央区銀座6-10-1
創業	1880 (明治 13) 年 5 月	会社設立	1945 (昭和 20) 年 5 月 30 日
資本金	1,723 百万円	従業員数	約 25,000 名 (連結) ※2020 年 3 月 31 日 現在、臨時雇用者数を含む
売上高	292,348 百万円 (連結)	営業利益	3,997 百万円 (連結)
事業内容	請負サービス(製造業界向け、サービス業界向け)、物流サービス(国内物流、国際物流)		

以 上